

(報道発表資料)

2024 年 10 月 18 日

株式会社 岩手銀行

東日本電信電話株式会社 岩手支店

**岩手銀行・NTT東日本共同「チャリティバザー」を開催します
～ 協賛企業 16 社を交えて拡大実施。収益金は福祉増進に寄与 ～**

株式会社岩手銀行(頭取:岩山 徹。以下 岩手銀行)と東日本電信電話株式会社 岩手支店(支店長:後藤 高宏。以下 NTT 東日本)は、2022 年 7 月に締結した「持続可能な地域の未来づくりに向けた連携協定」における「街のにぎわい創出」に向けた取り組みとして、盛岡市材木町よ市にて「チャリティバザー」を開催します。

本取り組みの開催は昨年に続き 2 回目、NTT 東日本としては 18 回目の開催となります。
今回は、岩手銀行・NTT 東日本に加え、協賛企業 16 社を交えた拡大開催となります。

社員から提供された衣料品や生活雑貨等をチャリティグッズとして一般の方々へ販売し、その収益金を社会福祉活動に役立てていただきます。

多数のお客様のご来場をお待ちしております。

具体的な内容等については、次のとおりです。

1. 開催日時 2024 年 10 月 26 日(土) 15:10 ～ 18:00
 * なお、「チャリティグッズ」が売り切れ次第終了いたします。
2. 開催場所 盛岡市材木町よ市
 材木町商店街振興組合 駐車場内 (岩手県盛岡市材木町 7-42)
3. チャリティグッズ 社員等から提供された新品・未使用の品物 約800 点(予定)
 ※ 衣料品、生活小物雑貨、タオル、食器 等
4. 今回の新たな取り組み
 - ① 本取り組みの趣旨に賛同いただいた協賛企業 16 社からチャリティグッズを提供いただいております。(協賛企業一覧については次ページのとおり)
 - ② 株式会社バイオマスレジン北日本(北日本製袋㈱子会社)様より、東北でとれたお米(非食用米)が 10%配合されたポリ袋をご提供いただいております。燃烧時の二酸化炭素排出を抑えるなど環境に優しいポリ袋として本バザーにおいても活用させていただきます。(別添のとおり)
5. その他 収益金の贈呈日等については、別途お知らせいたします。

チャリティバザー協賛企業様一覧（五十音順）



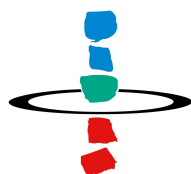
株式会社アイカムス・ラボ



株式会社イノベーションラボ岩手



株式会社岩手ビッグブルズ



環境・生活交響企業

EAST
SASAKI

株式会社佐々木組



損害保険ジャパン株式会社



Daiwa Securities

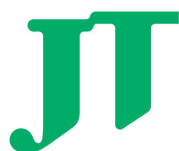


東京海上日動



より、そう、ちから。

東北電力



日本たばこ産業株式会社



盛岡ガス

株式会社ドコモCS東北

株式会社ドコモビジネスソリューションズ

※承諾頂いた企業のみ掲載しています

別添

【BR北日本】お米のプラスチック(ライスレジン®)を使用した環境美化袋

今回ご提供いただくポリ袋は、今夏に秋田県で開催された「男鹿日本海花火大会」併設のイベントにて花火大会でのごみ持ち帰り袋として実際に採用されたものです。

■お米のプラスチック「ライスレジン®」とは？



ライスレジン®は「お米」由来の国産バイオマスプラスチックです。食用に適さない古米、破碎米、碎米など、飼料としても使用されず、処分されてしまうお米や、休耕田、耕作放棄地等を活用して生産した資源米などを原料としています。温室効果ガスの排出量や石油系プラスチックの使用量を低減する事が出来る地球環境に配慮した材料です。

バイオマスレジン北日本がつくったこの袋は
東北でとれたお米(非食用米)が10%含まれています。
バイオマス原料から袋製造までオール東北で作ることで
輸送での二酸化炭素排出の削減も実現しています。
東北の農業の発展や田園風景の保全
石油系原料の削減と脱炭素社会の実現に向けた
取り組みにつながる袋です。



ゴミの持ち帰りにご協力ください！

男鹿日本海花火では「万人に優しい花火」を目指して運営しています。

環境配慮、感染症防止の観点から会場内にはゴミ箱の設置はありません。

マナーを守って会場内でのポイ捨てなどはせず、ゴミのお持ち帰りや分別にご協力いただけますようお願いいたします。

この袋は、東北でとれたお米（非食用米）が10%含まれています。バイオマス原料から袋製造までオール東北で作ることで、輸送での二酸化炭素排出の削減も実現しています。東北の農業の発展や田園風景の保全、石油原料の削減と脱炭素社会の実現に向け、男鹿日本海花火と共に取り組む環境に優しい袋です。

バイオマスレジン北日本がつくったこの袋は東北でとれたお米（非食用米）が10%含まれています。バイオマス原料から袋製造までオール東北で作ることで輸送での二酸化炭素排出の削減も実現しています。東北の農業の発展や田園風景の保全、石油系原料の削減と脱炭素社会の実現に向けた取り組みにつながる袋です。